

和文原稿作成上の注意点について

毎年、体裁上の不備が多いものを下記に記載しております。

不備が多い場合は、執筆要領違反に該当し、「不採用」となりますので予めご注意ください。

- 本文の書式は、1行あたり25字×47行の2段組にすること。
- 原稿の余白は、上25mm、下20mm、左右22mmに指定すること。
- 「題目」は左寄せで書き始めること。センターリングにしないこと。
- 文章の文字は、全て黒を使用すること。
- 文章の区切りは、カンマ「,」、句点にはマル「。」を使用すること。
- キーワードを区切るときは、カンマ「,」を使用し、1行以内とすること。
- 「キーワード」と「要旨」の間は空けず（行を空けない）に、続けて書き始めること。
- 「**題目**」、「**章・節・項の見出し**」、「**要旨**、**キーワードの見出し**」、「**参考文献の見出し**」は、**ゴシック体**を用いること。
- 「**題目**」に含まれる英数字は、**Arial 体**を用いること。
良い例：論文 FRCシートを用いたRC柱
悪い例：論文 FRCシートを用いたRC柱 ← 英文字にTimesを用いている
- 文中に引用する**表-1**、**図-2**や**図**、**表**、**写真**に記載する**タイトル**は、**黒のゴシック体**を用いること。
- **図-1**、**表-1**、**写真-1**のように、図と数字の間は、ハイフンまたはマイナスを入れること。
また、数字も含めてゴシック体を用いること。
悪い例1：図1， 表1， 写真1 ← 数字の前にハイフンまたはマイナスがない
悪い例2：図-1， 表-2， 写真-3 ← 数字とハイフンがゴシック体になっていない
- 「章の見出し」の上段は、1行空けること。
- 「節・項の見出し」の上段は、行を空けずに詰めて書き始めること。
- 図・表・写真と本文の間は、1行以上空けること。
- 参考文献の後には、図・表・写真を配置しないこと。
- 参考文献のフォントを小さくしたり、行間を狭くしたりしないこと。
- 本文の文末は、左右の段を揃えて書き終えること。